

■大川小に84本のヒマワリ

高橋としみ 68歳

(石巻市・団体職員)

わが家の近くの100坪(約330平方メートル)ほどの畑に、ヒマワリを植えています。何も耕作しておらず、今の時季は草が生えて困るので、ヒマワリの種をまい

たのが始まりです。一度まくと翌年に芽が出て花が咲くので、毎年夏は楽しみにしています。

夫は昨年、石巻市の震災遺構「大川小」で草刈りなど施設管理の仕事をしています。来館する方から、草刈りは何人でやっているんですかと尋ねられるそうので、1人と答えると皆さん驚かれるとか。手前みそですが、夫は手抜きをしません。昨年に比べて本当にきれいになったと褒められるそうので、本人も仕事冥利につきます。

大川小の奥の体育館周辺

が寂しいので、夫は畑からヒマワリの苗を持って持って植えることにしました。最初は数えないで持ったのですが、ふと考えて、84本にしました。この場所で亡くなった子どもたちと教職員の数です。

土がやせているのか、なかなか根付かず、何度も苗を持っていったのは植え直したようです。先日、「きょう、やっと一本花が咲いた」と喜んでいました。

日の光を浴びて満開になったヒマワリの元に、亡くなった人たちの魂が戻り、遺族の方たちにひとときの心の安らぎが訪れることを祈っています。